

令和7年度

社会福祉法人白寿会

事業計画書

# 1. 法人事業計画

## はじめに

令和7年度は、当法人の最初の拠点である「プレミアム扇」開設から20年目となる節目の年度です。白寿会としても、また令和4年に設立しました社会福祉連携推進法人青海波グループとしても、順調に事業を拡大し、安定的な運営基盤を築くにいたしました。「信頼と共感により安心の輪を広げます」の基本理念のもと、今後も更なるサービスの拡充、質の向上を目指し、以下を重点テーマとして法人全体で取り組むこととします。

## 重点テーマ

### ① 地域包括ケアシステム、共生型社会インフラの拡充

これまでは法人本部が主導してきたサービス拡充の計画立案を、各拠点で実施することとし、2年単位で全拠点において新たなサービス（新規事業だけではなく、新たな保険外サービスや公益的な取組も含む）を展開していきます。本部は新たな拠点開発に注力し、各拠点では地域の実情、ニーズに合ったサービス開発を行います。それぞれの地域において、地域における相談機能、在宅サービス機能、住宅機能、施設サービス機能を拡充し、自法人での地域包括ケアネットワークづくりを進めます。

#### ー 令和7年度着手予定 ー

扇エリア	地域健康体操の提供 居住支援と連動した訪問介護独自サービスの提供
松戸エリア	栄養ケアステーションの設置・サロン運営 訪問看護ステーションの設置 第二デイサービスの設置
新座エリア	誰でも通園制度への参加

### ② 介護テクノロジーの導入拡大/生産性向上

数年来取り組んでいる介護テクノロジーの導入については、現場レベルでの運用も定着してきており、具体的なケアの質向上につながっています。令和6年度には扇拠点での排泄センサー、東松戸での排泄センサーや見守りセンサーが導入（拡充）されています。令和7年度も継続的なセンサー類の導入、リフト機器の導入を予定し、保育も同様に午睡センサーの導入を検討し、テクノロジーを活用した職員負担軽減、生産性向上、ひいてはサービスの向上に向けて取り組んでいきます。

このような取組で得られた成果や教訓を、グループ内他施設と共有し、全体でのレベルアップにつなげていきます。

### ③ 拠点・法人横断的な取組による運営の高度化

白寿会は青海波グループの中心を担う法人であり、青海波グループで目指しているグループ法人10法人への拡大、スケールメリットを活かした各法人・施設の運営高度化のベンチマークとなります。

具体的には、下記のような取り組みであり、当法人自身がその模範となるべく実践していきます。

- ・昨年度策定したプレミアケアメソッドの運用・相互チェックから運営指導
- ・共同購買（取引業者、条件の一本化）
- ・外国籍職員向け介護福祉士受験対策講座・交流会
- ・介護、医務、機能訓練、相談、CMと職種レベルでの業務標準化、マニュアル化
- ・人事労務諸制度の共通化

#### ④ 広報力の向上

法人および各施設の広報媒体を多角化し、運用体制を見直します。施設認知度の向上、職員イメージの向上を目的に、コンテンツの高頻度の更新、SNSへの展開をします。

あわせて、新卒者採用プログラムを拡充、より他地域へ展開していきます。

### その他 令和7年度の方針

#### ① 事業展開の計画と方針

本部での拠点開発については、以下の方向性をもって計画化します。

- ・既存事業エリアでの特養の新設
- ・既存事業周辺エリアでの事業譲渡を含む、介護・保育・拠点の増設
- ・障害サービス（GH・日常生活支援）の設置

#### ② 人材確保・育成

職員エンゲージメントの向上、定着率の向上を目指して、職員個々のキャリアプランの立案支援・共有とともに高頻度の面談等、コミュニケーションを密にします。多様な働き方が可能となるような諸制度の更新と、その周知を行い、家庭環境等の変化があっても継続して働くことができる環境をつくります。あわせて人事・評価制度の充実を可能とする人事システムの導入を検討します。

育成面においては、資格取得支援、マイスター検定の継続的な運用に加え、現在システム選定中である電子マニュアルを上半期中に主要部分の作成を終え、eラーニングとしても活用していきます。

採用面については、概ね全ての事業所で定数を確保しているものの、今後の展開を見据えて定数を増員した事業所もあり、継続的に新卒採用プログラムの拡充、リファーマル採用を中心とした中途採用を進めます。外国籍職員についての増員予定はありませんが、訪問介護（令和7年度解禁予定）やデイサービスなど、これまで活用してこなかったサービスにおいて実験的に雇用することとします。社会福祉連携推進法人では千葉県において、介護福祉士受験対策講座を実施しており、特定技能から介護ビザへの切り替えを後押ししていきます。

### ③ 事業計画に基づく予算編成について

#### ■ プレミア扇

##### ・要員計画

今後の事業展開を見据えて、生活相談員、看護師については、いい人材であれば先行採用、増員を視野に入れていきます。居宅ケアマネージャーおよび訪問介護（サービス提供責任者）については早急に確保する予定です。

##### ・予算措置

補助事業として大規模修繕を計画しており、東京都および足立区からの補助、福祉医療機構からの借入金を財源として、設備更新、内装工事等を行います。その他、介護テクノロジーの拡充という方針に則り見守りセンサー、排泄センサーの増設、リフト機器の増設を行います。デイサービス、ショートステイの送迎車両についても更新を予定しています。

給食関連の値上げもあり、給食提供方法の検討を行います。食材費、直接雇用厨房職員の人件費等が増額する可能性もありますが、検討を経て補正予算にて対応することとします。

#### ■ プレミア草加南

##### ・要員計画

人員数としては計画に変更ありませんが、生活相談員および介護職員の配置方法を再考しているところです。

##### ・予算措置

喀痰吸引の研修費を計上しているほか、当初予算では目立った予算措置はしておりません。W I F I 環境の整備および見守りセンサーの増設については、利用可能な補助金を調査の上、補正予算にて実施予定としています。

#### ■ プレミア東松戸

##### ・要員計画

介護職員の定数を増員する計画としています。訪問看護ステーションの開設にあたり、看護師、機能訓練指導員は3名程度増員予定です。介護補助、事務については減員を計画しています。

##### ・予算措置

加湿器メンテナンス、居室エアコン洗浄、一部天井ボード張り替えといったメンテナンス関連費用、訪問看護開設準備として介護ソフトのライセンス購入費用等、排泄センサーの増設を予定しています。前年度に続き、喀痰吸引の研修費も計上しています。

## ■ まなびぐら新座保育園

### ・要員計画

保育士の要員計画としては変更ありませんが、若干名欠員となっており、補充を急いでいます。パート職員の雇用タイプを複線化しており、常勤者と同様の業務を担うタイプのパート職員を増やしていく予定です。また、用務員を新たに配置しております。

### ・予算措置

各種行事関連費用を計上しています。また、令和6年度から実施している旧築山周辺の改良工事の2期目として、トランポリンの増設、大型遊具の塗装工事（2期の1期目）を実施するための予算を計上しています。

## ④ 理事会・評議員会について

理事会は、5月の決算理事会、10月前後に行う補正理事会、3月に行う予算理事会を定例化し、その他必要に応じて招集、開催します。評議員会については6月に定時評議員会を予定しています。

### 理事会（令和7年4月時点）

理事長	川名 美枝子	常務理事	川名 康氏	理事	丸山 安三
理事	寺田 豊子	理事	柳澤 真左子	理事	加賀澤 大助
監事	葉本 喜信	監事	石原 久敬		

※ 各拠点の事業計画については、事業所備え付けの書類をご確認ください。